

# 奈良県感染症情報

平成 27 年 第 2 週( 1 月 5 日～ 1 月 11 日)  
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## ！！インフルエンザ警報発令中！！

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆ (1月5日～1月11日の状況)

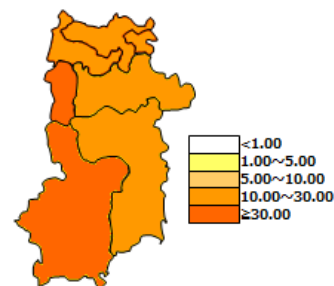
順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	26.74	(7.15)	↑	↗	↑	↗↗
2	感染性胃腸炎	4.41	(1.24)	↘	→	↘	↘
3	RS ウイルス感染症	1.21	(0.68)	↓	↓	↘	↓
4	A群溶連菌咽頭炎	1.12	(0.21)	→	→	↘	↑
5	水痘	0.79	(0.03)	→	↗	→	↘

発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減：過去5週間平均数と比べたときの変化 **↗↗**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

### ◆ 県内概況 ◆

インフルエンザ警報発令中です。北部での大流行に加えて、葛城保健所、内吉野保健所管内など中南部でも急増しています。

学校保健安全法では、発症した後(発熱の翌日を1日目として)5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで出席停止とされています。また、抗ウイルス薬の投与により解熱した場合でも感染力は残っているため、発症後5日を経過するまでは欠席することが望ましいとされています。この間は、学校や職場以外でも人の多く集まる所へ行くのを控え、感染拡大させないように注意してください。



インフルエンザ  
保健所別定点当たり報告数

### ❖ 小児科外来情報 ❖

#### 北部地区(矢追医院)

年末に大流行していたインフルエンザは休みによりやや減少している。ノロウイルスの感染性胃腸炎も子供は少なく成人例でカキを食べに行つて感染した方が時々ある程度で少ない。RSウイルス感染症もインフルエンザ同様に休みにより減少、手足口病が年末よりでている。

#### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は普通程度、まだそう多くない状況。

インフルエンザが増加、すべて A 型。比較的軽症で無熱の陽性例もあった。感染力もそう強くないのか家族内でも罹患を免れる人もある。

感染性胃腸炎が流行、ノロ様で嘔吐が主。今冬ロタはない。

その他水痘が流行。A 群溶連菌感染症が少し。

#### 南部地区(県立五條病院小児科)

インフルエンザ流行中。すべて A 型で B 型はみられない。呼吸器症状に乏しく、熱と頭痛だけのものや、発熱がなく全身倦怠感のみのインフルエンザもみられる。

下痢中心のウイルス性胃腸炎も多い。また手足口病が散見されている。





❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H27 ▲ H26 □ H25 〰 過去10年平均

